

前期始業式 式辞

今日から新学期が始まります。昨日、241名の新入生を迎え、香風高校に活気のある学校生活が始まろうとしています。新年度という節目を迎え、皆さんにお話しをさせていただきます。

今年はオリンピックイヤーですので、パリ五輪に日本代表として出場する選手の話をしてします。半井重幸という選手ですが、ニックネーム「シゲキックス」と言った方が知っている人が多いかもしれません。パリ五輪から正式に採用される新競技「ブレイキン（ブレイクダンス）」の選手で、金メダルの最有力候補です。私はこの競技のことについて全くの無知ですが、試合の動画を見たり本人の話を聞いて、想像以上に奥が深いスポーツだと感じました。半井選手の武器は、激しいダンス中に体の動きを急に静止する「フリーズ」という技で、この技の習得のために想像以上のトレーニングを積み重ねてきたとのこと。しかし、スポーツであれば肉体を鍛え、技を習得することが好成績につながる近道だと考えられますが、半井選手はブレイキンを「アートに近い」と語り、そのために必要なことを今改めて問い直しているそうです。「常に何かに興味を持つことと、インスピレーション（ひらめき）を求めることを大事にしていきたいとすごく感じているところです。新しいところに足を運んだり、自分とまったく違うことをやっている人と話をしたりすることが、自分のスタイルにいい影響をもたらすと思っています」。全日本選手権3連覇や世界大会金メダルなど数多くの優勝実績を持つ半井選手ですが、人に感動やエネルギーを与えていきたいという強い思いを持ち、常に新しいものを求めようとする前向きな姿勢がうかがえます。このような前向きな姿勢を持っているからこそチャンスが訪れ、それを確実に獲得しながら勝者としての地位を不動のものにしているのでしょう。

香風高校では、何か1つだけでいいので、夢中になるものを見つけてください。夢中になるものを見つけると、日常生活においても常に前向きな気持ちになります。そして、前向きな気持ちはチャンスを呼び込み、またチャンスがやってきたとき、それに気づくことができます。ただし、何か目標ができると、それを追い求める過程で苦しいとき、辛いとき、挫折そうになることもあり、時には「自分はできないからだめだ」と感じることもあるかもしれませんが、決して悪いことではありません。できる自分をイメージすることができているから、できない自分に悩むのです。悩むことは成功へ向かう原点だと言っても過言ではありません。成功した人は、誰もができない自分に悩んだ経験を持っており、自分ができないから頑張ろうとするのです。だから、どんな時も「どうせ無理」という言葉を口にせず、「どうすれば」を考えてください。

私は夢や希望を叶えるために必要なことは、次の3つの姿勢と考えます。

- 1 「できない自分」を「だめな自分」と思わない
- 2 常に前向きな気持ちを持ちながら、焦らずに少しずつ歩みを進める
- 3 夢が叶えられたとき、成功したときのことを常にイメージする

皆さんにとって人生は一度きりです。香風高校に入学した以上は、夢と希望を追い求める高校生であってほしいと思います。今日お話ししたことを、本年度の学校生活の参考にしてください。みなさんにとって、よき1年がスタートすることを願っています。

令和6年4月9日

兵庫県立西宮香風高等学校長 桑田 圭介